



**【理念】**

人の心を大切に、  
皆様に安らぎと感動を提供することが、  
私たちの使命です。

**【基本方針】**

- ・利用者様の尊厳を守ります。
- ・安全を最優先します。
- ・質の高い介護サービスを提供します。
- ・地域社会に貢献します。

|    |                   |
|----|-------------------|
| 目次 | 誤嚥性肺炎と口腔ケア・・・P1   |
|    | 当法人が目指す介護・・・P2    |
|    | 行事風景・・・P3         |
|    | 行事等のご案内、編集後記・・・P4 |

2016年10月号(第2号)  
社会福祉法人 大同福祉会  
特別養護老人ホーム  
ゆうあいの里 大同

**誤嚥性肺炎と口腔ケア**

高齢者に多い誤嚥性肺炎は、時には重篤な症状となり亡くられる場合もあります。その原因は、第一に嚥下機能(※)の低下と口内細菌の増殖(口の中の不潔)です。嚥下機能が低下すると、むせたり、唾液も上手に飲み込めず気管に流れ込んでしまいます。その為肺炎を発症してしまうのが誤嚥性肺炎です。当施設では入居者の嚥下機能の状態に合わせ、安全に召し上がって頂ける食事形態(ミキサー・ムース・キザミ食等)を提供し、個人のペースに合わせた食事介助を心がけています。また、誤嚥性肺炎予防で重要なのが口腔ケアで

す。特に食後、口腔内に食物が残っていないかを確認し、歯ブラシやスポンジブラシ等を使用して口腔内を清潔に保つことが大事です。胃瘻の方は、咀嚼をしないので、唾液が減り、雑菌が繁殖しやすくなります。当施設では、1日3回全員の口腔ケアを実施しています。

9月中旬より約半年間、愛知学院大学の歯学部の実習生を受入れます。高齢者の食事や口腔ケアの様子を学べれます。この機会に私達も、より良い食事介助や口腔ケアについて再学習していきます。(※嚥下機能…ものを飲込む動作)

**施設の安全管理対策**

相模原市の障害者施設での事件を受け、施設の安全管理について問われており、官公庁より指導・通達がありました。当施設は事件が起こる以前から、安全管理の見直しの取組みを始めておりました。

主には窓・扉の施錠確認の徹底、防犯センサー確認の徹底、朝・夕の見回り時間とチェック項目の徹底、全ての窓が全開にならないようストッパーの確認・取付、職員退社都度の職員玄関暗証番号の変更等を行っています。これらを徹底することにより、職員個々の安全管理に対する意識も向上し

ています。これからも職員が感じる危険予知の意識を高め安全管理体制の強化を継続させてまいります。

相模原の施設の事件を「他山の石とする」と捉え、入居者・ご家族・職員・地域住民との信頼関係を築くことにより安全な施設となるよう、一層努力してまいります。



## 食事の取り組み

愛知県は国内有数の野菜の産地ながら、愛知県民は目標とする野菜摂取量を下回っています。

当施設でも食物繊維が豊富な野菜はかむ力が必要で、繊維質が残り食べづらいため、野菜(特に葉物野菜)が残菜として残ることが多いです。食べやすく野菜も多くとれるような献立や調理方法を日々検討しております。調理の工夫として、切り方は繊維を断ち切るように切り、料理によっては下処理として一度野菜を蒸して火を通し軟らかくして提供します。献立の工夫として、八宝菜や野菜炒めなど加熱してカサを減らし、一度に多くの野菜

が摂れるようにしたり、混ぜご飯が人気なので、季節のかわりご飯として、ご飯に野菜等の具を混ぜ込み、無理なく美味しく召し上がって頂けるように努めています。

これからの季節は栗ご飯、きのこご飯、さつまいもご飯、五目ご飯を予定しております。食欲の秋には旬を迎える美味しい食べ物がたくさんあります。おいしく栄養価も高い、旬のものを楽しく味わうため焼き秋刀魚や焼き芋を屋外で召し上がって頂くイベントも企画しております。



## 褥瘡(じょくそう)対策について

褥瘡という言葉をご存知でしょうか?一般的に「床ずれ」といわれています。長時間の圧迫などが原因で、皮膚が損傷してしまうことです。高齢の寝たきりの方、麻痺のある方、感覚が鈍くなっている方などが、車イス、ベッドで長時間同じ姿勢のまましていると褥瘡(床ずれ)が発生します。

褥瘡は一度発生してしまうと治るのに時間がかかり、発見が遅れると様々なリスクが発生してきます。また普段の生活で皮膚がよくあたる箇所のできる為、本人にとっても痛みを伴い、大きなストレスになります。そのため褥瘡発生を予防することが大切です。

施設では褥瘡ができる危険因子(リスク)を入居時、3ヶ月毎、状態変化時に判定をして個別のリスクに応じて低栄養の方には栄養補助食品を提供し、体圧を分散する寝具、クッションを個別に選定し2時間おきに体位交換を行い除圧に努める等、予防的対応を実施しています。

入浴後は保湿剤で皮膚を保護し、皮膚の赤み、体のねじれ、変形、むくみなども褥瘡のリスクになる為、皮膚観察など多職種と連携をし積極的に予防に取り組んでおります。

## 転倒リスクと筋力維持の取り組み

高齢になり、足腰が弱くなってくると転倒する危険が高くなります。転倒の主な要因は、下肢筋力の低下です。転倒を恐れて歩くことを抑制したり、車椅子に身体をベルトで固定したりしては、さらに足腰が弱くなり、歩いた時にフラついたり、立ち上がろうとした時にバランスを崩したりしてしまいます。施設では下肢筋力の維持・向上をしていただく為、足踏み運動や平行棒を用いて立位保持や歩行訓練、見守りのもとでの歩行や歩行器での訓練に力をいれています。

私達は、施設の基本方針にある「安全を最優先

します」を念頭に、入居者に残された身体能力を最大限発揮していただき、当施設で安全で元気に過ごして頂きたいと考えています。



## 寝具持込について変更します

衣替えの季節となりました。施設の基準寝具は敷パット、シーツ、掛け布団、包布、枕、枕カバーです。週に一回、業者に依頼し洗濯・消毒・プレスしたものと交換しております。入居者の衣類の洗濯物は基本的にすべて施設内で洗濯しております。開設以来今日まで、入居者・ご家族希望で持ち込まれた寝具(毛布、敷パット、タオルケット、枕等)の洗濯も施設内で洗濯をしていたケースもありましたが、近年入居者の高齢化、介護度の上昇に伴

い衣類・寝具の汚染による洗濯物が増えており、通常の施設内洗濯業務に支障が出る状況です。従いまして11月から、持込みの寝具は、ご家族が、定期的に持ち帰り自宅で洗っていただくようご協力をお願いいたします。基準寝具では、“寒い”という方は職員にお申し出ください。掛け布団を追加してご利用いただくようにいたします。



## (7~9月の)行事風景

7月25日(月)高砂部屋の三段目「朝乃丈」「石橋」2名の力士訪問がありました。ご家族はもちろん、地域にお住いの方も子供からお年寄りまで幅広くご来場いただきました。

力士による技の披露では歓声が上がリ、相撲甚句で笑いを誘う、賑やかなイベントになりました。入居者は力士と喜びいっぱいの顔で握手をされました。

最後に皆様と一緒に高砂部屋のちゃんこを召し上がられました。



7月名古屋港花火大会では3階ベランダにて花火の鑑賞を行ないました。目で観て、音を聞き、夜風を浴びました。8月柴田七夕祭りにご家族と一緒に参加しました。かき氷や焼きそばなどたくさん屋台があり、食べ歩きしながら踊りなどのイベントを鑑賞しました。地域の祭りの雰囲気を感じて頂けたと思います。スイカ割りも開催しました。大きな

スイカを見て精神集中！見事スイカを割る事が出来ました。



9月18日(日)にゆうあい祭りを開催しました。今年秋にお祭りを行った初めての年となりましたが、たくさんのご家族にご参加いただきました。入居者は普段来られない孫やひ孫さんと屋台の焼きそばやアイスなどを食べ、家族団らんの時間を楽しめました。

イベントでは敬老の日になみ、長寿祝いのご紹介をしたり、入居者がご家族と一緒にビンゴゲームをしたり、職員がダンスを披露するなど大盛況でした。

来年も入居者、ご家族にお楽しみ頂ける祭りを計画して参ります。





## 10～12月の行事等のご案内

紅葉…高野辰之・岡野貞一

♪秋の夕日に照山紅葉

濃いも薄いも数ある中に♪



平成28年

ゆうあいの里大同

舗道に落ち葉が散り敷く季節  
寒さは、すっかり定着しつつあります。  
職員一同、健康管理に注意し、  
入居者のサービスに努めます。



10月 遠足…大池公園、聚楽園、なばなの里  
お祭り…幼稚園お神輿  
名古屋市老人ホーム運動会  
健康診断  
大同コンサート



11月 焼き芋  
インフルエンザ予防接種

### 正月

1/1～3に抹茶と甘酒  
の無料サービスを  
行います。  
ぜひ、お越してください。



12月 クリスマス会  
餅つき…鏡餅、花餅づくり  
ゆず湯

## (経営からの)施設状況報告

当法人の今年度の事業計画の一つに「医療ニーズの高い高齢者の受入れ拡大」があります。大同病院との連携並びに当施設の嘱託医師の協力のもと、看護・介護体制を充実させることにより、自宅での医療・介護が難しい方へのサービス拡大を図ってまいりました。

受入れ実績は右の表のとおりです。

今後も積極的に受入れ、他施設とは違う当施設の特徴を生かせるよう日々努力してまいります。

(平成28年4月～)

|         |     |
|---------|-----|
| 尿管      | 11名 |
| 胃ろう     | 5名  |
| インスリン注射 | 2名  |
| 人工透析    | 2名  |
| 人工肛門    | 1名  |
| 在宅酸素    | 1名  |
| 合計      | 22名 |

(延べ人数)

## 職員コラム

先日、祖父母に会いに田舎へ帰りました。少し前に祖父が食欲がなく起きてこないと聞き心配していましたが、会いに行くと饅頭を食べコーヒーを飲み、私にも饅頭を勧めてくれるほど。以前と変わらぬ祖父の様子を見て、逆に私が元気をもらってきました。

叔父は介護が大変だと、祖母の耳の遠さや、祖父の頑固さに苦労する話をしながら、面倒がらずに私を迎えてくれました。祖父母の家で一緒に食卓を囲み、他愛もない話をしたことが父母へのよい土産話になりました。

帰りに叔父がたくさん持たせてくれたお土産が無くなるまでは祖父母と叔父の顔を浮かべて過ごすことが出来ることを幸せに感じます。HK

## 編集後記

人に思いを伝えることの難しさを感じています。7月に初版を発行して今回さらに良いものにと意気込んでみましたが、地域・ご家族の方に読んでもらえる記事が書けたのかを考えると不安を感じます。

この地域に「ゆうあいの里大同」があることで近隣の人々がご高齢になっても安心して暮らせるような施設の情報を発信し続けて参ります。

広報委員会

